

令和 6 年 度

公益財団法人倉敷スポーツ公園

事業計画及び予算書

令和6年度公益財団法人倉敷スポーツ公園事業計画	・ ・ ・ ・ ・	1
令和6年度公益財団法人倉敷スポーツ公園収支予算	・ ・ ・ ・ ・	3

令和6年度 事業計画について

1. 事業運営方針

当財団は、平成6年5月に設立されて以来、一貫して倉敷スポーツ公園の管理運営を担っており、令和6年度は第5期指定管理の3年目として、引き続き、県との包括協定を遵守した適切な公園運営に努める。併せて、五ヶ年事業計画に盛り込んだスポーツのきっかけづくりや健康づくりに貢献する事業などの自主事業を着実に実施し、県民や地域住民に親しまれ、誰もが安全・安心に利用できる公園として、更なる利用促進と満足度の向上に取り組む。

また、経営面においては、諸物価や人件費の急激な高騰により取り巻く環境は厳しいが、現行の高い安全水準やサービス水準を維持しながら、収入の増加と業務の効率化・経費節減に取り組む。

2. 公益目的事業

幅広い年齢層の県民が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、引き続き、安全・安心に利用できるよう適切な管理に努めるとともに、公園諸施設の利用促進を図り、県民の福祉に寄与する事業を行う。

また児童、生徒にさまざまな体験学習の場を提供し、社会貢献に寄与する。
<主な取組>

(1) 公園施設の管理運営事業

県民のスポーツ・レクリエーション活動や健康づくりの拠点となるよう、一般利用はもとより、大会利用・イベント利用などの利用促進に努める。幼児運動教室やキッチンカーの誘致などの新規事業にも積極的に取り組むとともに、マスカットスタジアムの利用については、プロ野球公式戦・オープン戦はもちろんのこと、二十歳のつどいや音楽イベントなど野球以外の利用方法についても、提案及び誘致活動に努める。

(2) スポーツ教室等開催事業

テニス教室をはじめとした各種スポーツ教室を自主事業として開催しているが、オリンピックで話題になった競技のスポーツ教室等を開催し、スポーツを始めるきっかけづくりと利用促進に取り組む。

また、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにするため、子供から高齢者まで誰でも楽しめるニュースポーツ教室を開催する。

[スポーツ教室]

- ・幼児運動教室
- ・テニス教室
- ・スカッシュ教室
- ・リフレッシュヨガ教室
- ・ZUMBA 教室
- ・ブレイクダンス教室
- ・ティーボール教室
- ・少年野球教室
- ・マインドフルネスヨガ教室
- ・リラックスヨガ教室
- ・ピラティスマットワーク教室

(3) スポーツ大会等開催事業

各競技の一層の振興を図り、園内施設を活用して日頃の練習の成果を発表する機会を提供するため、各種スポーツ大会を開催し、技術の向上を図る。

[スポーツ大会]

マスカット杯軟式野球大会（年1回）

フレンドリーテニス大会（年2回）

少年サッカー大会（年1回）

スカッシュ大会（年1回）

車いすテニス大会

国際交流スポーツ大会

(4) 野球競技活性化事業

プロ野球の試合を1試合でも多く誘致するため、県内の行政機関や経済団体等と組織する「岡山にプロ野球を誘致する会」等と連携して、誘致活動を行い、県民にプロ野球を観戦する機会を提供する。

また、プロ野球開催に当たっては、県内の野球少年達を招待し、野球競技の振興、技能向上等を図る。

3. 収益事業

野球場内の広告スペースに企業等の広告を掲出し、収益を公益事業の円滑な実施に役立てているが、引き続き広告代理店と連携して企業等への働きかけを行い、一層の有効活用、収入確保に努める。

4. 財団の運営

倉敷スポーツ公園の第5期指定管理者として、引き続きコンプライアンスの遵守及び利用者サービスの向上に努め、適切な組織運営を行うとともに理事会、評議員会等の活性化を図り、より地域に根差し開かれた組織となるよう努める。

基本財産等の運用については、安全で確実かつ効率的な運用に努める。

令和6年度 収支予算について

収支予算書（正味財産増減計算書ベース）
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科目	予算額	前年度当初予算額	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	25,880	26,530	△ 650	
基本財産受取利息	25,880	26,530	△ 650	
特定資産運用益	570	540	30	
特定資産受取利息	570	540	30	
事業収益	104,424	99,455	4,969	
施設利用料等収益	84,000	80,000	4,000	
広告事業収益	14,503	13,734	769	
受取会費	4,521	4,521	0	
自主事業収益	1,400	1,200	200	
委託料等収益	161,811	174,070	△ 12,259	
岡山県管理運営費	161,811	174,070	△ 12,259	
雑収益	2,075	304	1,771	
受取利息	2,075	304	1,771	
経常収益計	294,760	300,899	△ 6,139	
(2) 経常費用				
事業費	302,189	315,895	△ 13,706	
役員報酬	8,160	7,560	600	
給料手当	64,647	60,432	4,215	
共済費	611	793	△ 182	
臨時雇賃金	5,000	4,900	100	
福利厚生費	14,561	12,725	1,836	
報償費	3,500	3,500	0	
旅費交通費	700	700	0	
光熱水費	46,700	66,300	△ 19,600	
需用費	10,100	10,100	0	
広告宣伝費	850	470	380	
修繕費	18,150	30,409	△ 12,259	
委託料	108,424	100,758	7,666	
保険料	880	880	0	
通信運搬費	2,500	2,500	0	
手数料	1,700	412	1,288	
使用料、賃借料	960	760	200	
負担金	595	588	7	
消耗什器備品	1,000	1,000	0	
租税公課	7,353	5,850	1,503	
減価償却費	100	100	0	
賞与引当金繰入額	4,030	3,917	113	
退職給付費用	1,668	1,241	427	

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度当初予算額	増減	備考
管理費	7,182	7,413	△ 231	
役員報酬	3,920	3,720	200	
給料手当	806	863	△ 57	
共済費	13	23	△ 10	
福利厚生費	568	536	32	
報償費	494	494	0	
旅費交通費	20	20	0	
光熱水費	800	1,200	△ 400	
需用費	50	50	0	
保険料	170	170	0	
使用料、賃借料	30	30	0	
負担金	125	125	0	
消耗什器備品	0	0	0	
租税公課	40	40	0	
減価償却費	50	50	0	
賞与引当金繰入額	68	78	△ 10	
退職給付費用	28	14	14	
経常費用計	309,371	323,308	△ 13,937	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,611	△ 22,409	7,798	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 14,611	△ 22,409	7,798	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
寄附金	1,000	1,000	0	
経常外費用計	1,000	1,000	0	
当期経常外増減額	△ 1,000	△ 1,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 15,611	△ 23,409	7,798	
一般正味財産期首残高	277,703	278,515	△ 812	
一般正味財産期末残高	262,092	255,106	6,986	
II. 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	1,349,918	1,330,474	19,444	
指定正味財産期末残高	1,349,918	1,330,474	19,444	
III. 正味財産期末残高	1,612,010	1,585,580	26,430	